



## 世界遺産マスタープランに関する住民説明会終了！！

春以降9回にわたって実施された世界遺産マスタープラン検討住民会議の内容説明会を、各組ごとに開催いたしました。去る6月19日の中屋組からスタートし、7月8日の西上組をもって全7回を終了したところです。ほぼ全家庭がご参加くださるとともに夫婦でご参加くださるご家庭もあり、その関心の高さを大変ありがたく感じました。また、参加者全員がご発言くださり、住民の切実な声から検討会議にあがっていた問題点の多くを住民の方々も同様に問題点として捉えてくださっていたことが確認できました。そして、私たちが歩もうとしている方向に多くの方々が賛同してくださっていることに大きな自信をもちました。交通対策、農地の保全、住居の建て詰まり等、これらは住民の生活や個々の利害にまで及ぶ内容であるだけに難しさがあります。しかし、どこかで問題解決にむけての決断をくださなければなりません。それがマスタープランであり、そこには世界遺産を子や孫の代へと継承する誇りある揺るぎない決意を反映していかなければなりません。加えて、住民が安心して生活できる荻町をめざし、住民の声がマスタープランに十分反映されるよう、検討住民会議の委員が丸となってがんばっていきたく決意を新たにしています。今後も皆さんのご意見を検討住民会議へお寄せ下さるとともに、ご理解ご協力の程よろしくお願い申し上げます。[検討住民会議事務局:和田]



[6月23日東中組の説明会]

## 石見銀山・広島原爆ドームに学ぶ！！

～合掌財団自治保存会育成事業視察研修に参加して～

7月1日～3日の3日間、見出しの視察研修に、守る会から4名の委員と7名の会員計11名が参加いたしました。島根県石見銀山は昨年度世界遺産に登録された地域であり、広島原爆ドームは負の世界遺産として平成8年に登録されています。同じ世界遺産を通して多くのことを感じて帰ってきました。そこで、印象に残った思いを、参加者の感想を交えながら報告させていただきます。

1日目は10時間余りバスに揺られての移動となりました。しかし、合掌財団で用意して下さった石見・広島原爆・白川の昔の映像等をバスの中で試聴することが、日常の雑務を忘れ研修モードへと切り替える貴重な時間となりました。宿泊は石見世界遺産地区内にある温泉津(ゆのつ)温泉。平成16年に重要伝統的建造物群保存地区の選定を受けた地区で、中世から続く温泉町であり石見銀山の外港として発展してきました。江戸末期から昭和初期にかけての町屋型住宅を中心に、旅館や寺社が並ぶユニークな町並みを見学できました。

2日目のメインは大森銀山重要伝統的建造物群保存地区の視察です。大田市教育委員会の林さんの説明及び案内で、地区のほとんどを徒歩で見学しました。石見地区は狭い谷間の地域で、道幅も狭く観光車両の乗り入れを危惧していました。そこで平成19年より石見銀山方式パーク&ライド方式を採用し、観光車両を2km離れた400台収容の駐車場に停め、路線バスを使って石見銀山の町中に移動するようにしました。町中から銀山地区(間歩と呼ばれる坑道が点在する地区)への移動は定期バスもありますが、対岸に遊歩道が整備され片道2.3kmをゆったりと散策できるようになっています。これは、世界遺産登録の決め手となった『自然との共生』を大切に、環境にやさしい『歩く観光』を石見銀山の観光スタイルとして打ち出している



[遊歩道を歩いて散策]

点にあります。また、ガイドの養成にも力を入れており、ガイドの説明を聞きながら散策することで石見の素晴らしさを理解し満喫することができると感じました。午後の町並みの散策では、土産物等観光営業をしている家の少なさを感じました。今後は、観光客の増大による店舗の増加や私設の駐車場の出現が予測され、景観が阻害される前に何らかのルールを行政と住民が一体となって考えていかなければならないと対策を考えているようです。また、駐車場には「世界遺産センター」が完成し、見学前に石見の世界遺産としての位置づけや歴史、見所がわかるよう工夫されていました。石見は日本で最も新しい世界遺産であり、各所登録済みの地区の長所短所から学び活かしている地区です。だからこそ私たちも石見のよさを学び萩町に活かしたいと感じました。



[世界遺産センターでの説明]

最終日は、広島原爆ドームです。平和公園に飾られているたくさんの千羽鶴、平和記念資料館に展示されている被爆写真や熱線で熔けたビンやレンガ等の遺物。戦争のおろかさや悲惨さを痛いほど感じるとともに負の遺産のもつ重みと意義を強く感じました。

最後に、参加者の感想を掲載するとともに、合掌財団ならび関係諸氏に感謝の意を表し、研修報告とさせていただきます。[文責：和田]



[原爆ドームに世界平和を祈る]

----- 参加者よりの一言！！ -----

- ・遠かったが、行った価値があった。車中のビデオが活きました。
- ・温泉津の旅館から見た屋根瓦の景観に感激した。
- ・石見銀山の歩いて見学する方式がよかった。お年寄りも楽しんで歩いてみえたし、ゴミの落ちていない景観にも感動。
- ・萩町の散策コースを工夫しては、のんびり散策できる場所に。
- ・合掌集落のよさを知っていただくためのヘリテイジセンターやガイド養成を。ガイド養成は働く場所の拡大にもつながる。
- ・広島平和公園の外国人の多さに驚いた。平和を祈る姿に頭が下がる思いがした。世界遺産の目的は世界平和を目指すことにありと学び感動した。その一役を私たちも担っているのだから。
- ・ゴミのない萩町を目指したい。お客様をお願いすることも必要だが、おもてなしをする私たちがゴミ拾いを頑張れば、必ずお客様に通じる何かがあると思う。思ったら実行！！

守る会の活動指針（国際フォーラム白川郷宣言より）

- (1) 隣人にやさしい心豊かで安全な共同生活のいっそうの充実
- (2) かけがえのない美しい文化遺産の保全と未来への確かな継承
- (3) 国内外の人々との文化交流を通して友好の輪の拡大

= 6月の活動報告 =

- 6月 6日 役員会
- 6月 10日 6月定例会（17名）
- 6月 11日 ねそ6月号発行
- 6月 19日 マスタープラン住民説明会（中屋組）
- 6月 20日 マスタープラン住民説明会（東上組）
- 6月 23日 マスタープラン住民説明会（東中組）
- 6月 24日 マスタープラン住民説明会（東下組）
- 6月 27日 マスタープラン住民説明会（西下組）

= 区民の皆様へ =

建物や土地などの現状を変更する場合は許可が必要です。必ず現状変更申請をして下さい。申請書は守る会定例会の2週間前までに、各組委員に内容を説明の上、委員又は財団に提出して下さい。このことは、遺産の保全と未来への継承のためとても重要なことです。皆さんの理解とご協力をお願い致します。(次回定例会は8月7日を予定しています。)

7月の協議事項（現状変更申請に関わって）

- \*\*\*\*\* トタン屋根の葺替・箱棟取付（\*\*\*\*\* 小屋）
- 白川八幡神社……………本殿トタン屋根の葺替・拝殿屋根の補強
- 萩町多目的集会施設……………遊具の設置
- 白川村……………水道用加圧ポンプの設置
- 白川郷観光協会……………看板の設置